



令和3年度
気候変動
アクション
環境大臣表彰

応募申請にあたっての手引き

令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰運営事務局
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット



応募申請について



1. 応募申請方法について

- (1) 様式をA4サイズでPDF保存し、**電子メールにて送付**してください。
- (2) (1) と併せて、**様式の電子ファイル（Excelファイル）を電子メールにて送付**してください。
- (3) グラフや図表等はモノクロでも判明できるように作成をお願いします。
- (4) 参考資料の添付について
下記の事項をご確認のうえ、**応募申請書類と一緒に電子メールにて送付**してください。

<留意事項>

- ・参考資料の様式はございません。**A4サイズPDF・20ページ分以内**に収めてください。
- ・冊子、パンフレットなどは該当箇所のみをお送りください。
- ・画像データ（CD-ROM、DVD-ROM等）は受け付けられません。
- ・応募申請書類への記載を省略し、「別紙参照」として添付資料で代替することは認めません。

※申請書の記入方法につきましては、2～6ページに記載する詳細ページを必ずご一読ください。

2. 提出・お問合先について

令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰運営事務局
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット内)

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-9-12 九段ニッカナビル7階
担当：黒田・松本貴・井原 ※対応時間：10～17時（土・日・祝日を除く）
TEL:03-6273-7785 FAX：03-3263-1010

<応募申請書類・電子メール送付先>

E-mail : mea@zenkoku-net.org

電子メールでの提出について

※タイトル（件名）に

「【氏名または団体】令和3年度気候変動アクション環境大臣応募と記載してください。

※20MBを超える場合は、メールを何通かに分けて送信をお願いします。

3. 提出締切について

令和3年7月30日（金）17：00 <必着>となります。

※必ず、この時間までに電子メールでの送信を完了させてください。

※応募された申請書については**3営業日以内に事務局で確認し、受領確認メールを送信**します。

このメールが届かない場合は、必ず事務局にお問合せください。



申請書類の記入について

1. 様式1（自薦）の場合

※令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰
応募申請書（自薦／様式）をダウンロードし、ご使用ください。

①部門を選択してください

②団体 or 個人を選択してください

環境省地球環境局長 殿

団体名：
代表者名：

「令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰」への応募について
令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰実施要領に基づき、

部 門 名： 開発・製品化部門（適応分野）

活動の名称：
に応募します。

【名称について】

- ・必ず正式名称をご記入ください。

【押印について】

- ・必要ありません。

【日付について】

- ・記入した日付を入力してください。

【部門について】

- ・活動の軸となっているところと一番近い部門を選択してください。1つの活動について1部門のみの応募申請となります。ただし、選考委員会で応募申請された部門よりふさわしいと判断された部門での表彰もあり得ます。

※ P7～の“応募部門／分野選択チャート”もご参考になしてください。

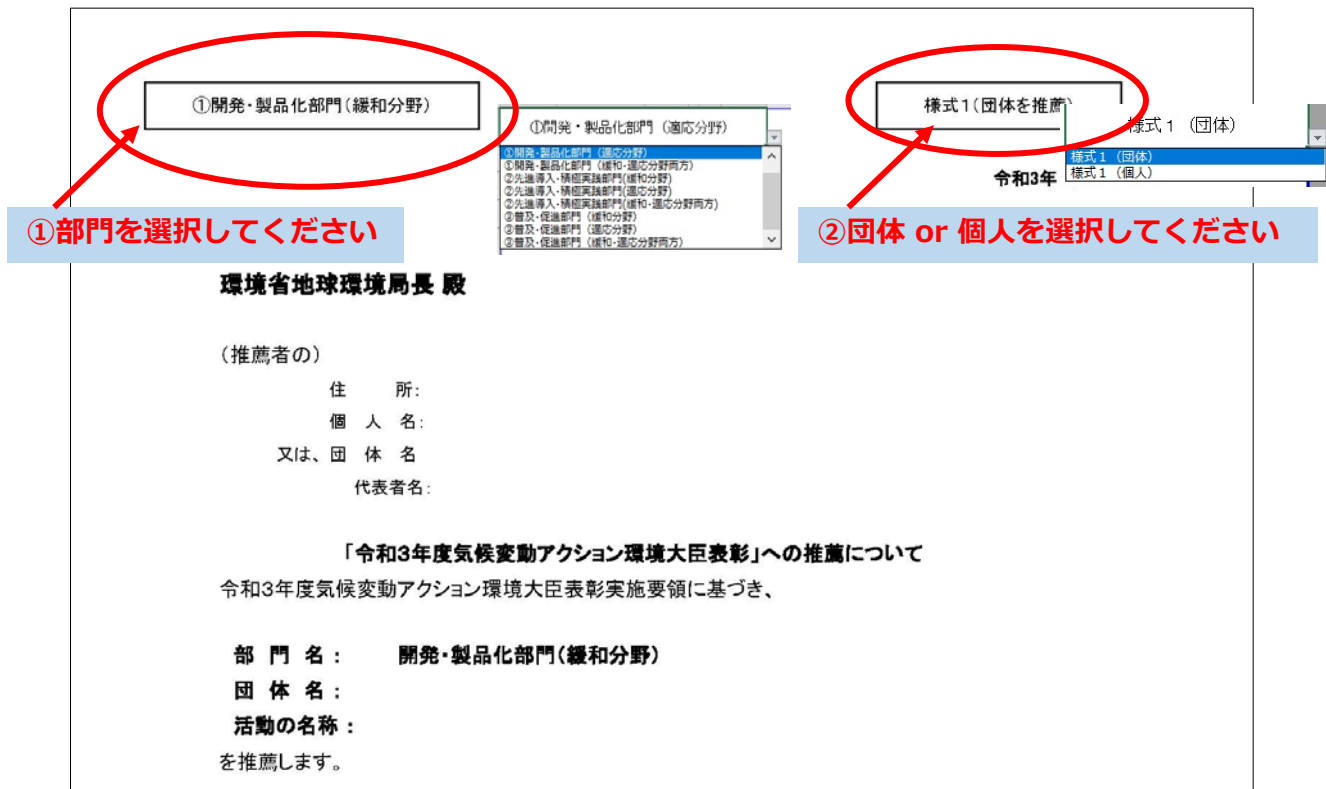
【活動の名称について】

- ・応募する活動概要・事業概要を表すタイトルです。30字以内程度で端的にご記入ください。過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受賞した取組と、同一の活動あるいは功績での応募はできません。判断が難しいようでしたら、取組みの内容を精査できる資料をお送りくだされば、検討いたします。

申請書類の記入について

2. 様式1（他薦）の場合

※令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰
応募申請書（他薦／様式）をダウンロードし、ご使用ください。



①部門を選択してください

②団体 or 個人を選択してください

環境省地球環境局長 殿

(推薦者の)

住 所:

個 人 名:

又は、団 体 名

代表者名:

「令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰」への推薦について

令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰実施要領に基づき、

部 門 名 : 開発・製品化部門(緩和分野)

団 体 名 :

活動の名称 :

を推薦します。

【名称について】

- ・必ず正式名称をご記入ください。

【押印について】

- ・必要ありません。

【日付について】

- ・記入した日付を入力してください。

【部門について】

- ・活動の軸となっているところと一番近い部門を選択してください。1つの活動について1部門のみの応募申請となります。ただし、選考委員会で応募申請された部門よりふさわしいと判断された部門での表彰もあり得ます。

※ P7～の“応募部門／分野選択チャート”もご参考になしてください。

【活動の名称について】

- ・応募する活動概要・事業概要を表すタイトルです。30字以内程度で端的にご記入ください。過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受賞した取組みと、同一の活動あるいは功績での応募はできません。判断が難しいようでしたら、取組みの内容を精査できる資料をお送りくだされば、検討いたします。

申請書類の記入について

3. 様式2-1 (自薦・他薦共通)

様式2-1

応募申請用紙

(整理番号: 1 - 1 -)

部門名	開発・製品化部門(緩和分野)		記入年月日	令和3年 月 日
活動の名称				
推薦者名	<div>○推薦者情報は、他薦の場合のみご記入ください。 (自薦の場合は、記入不要です。あらかじめグレーに網かけされています。)</div>		TEL:	FAX:
推薦者の推薦理由	担当者名:			
<div>○他薦の場合は推薦の理由をご記入ください。また、複数の団体等を推薦する場合、可能な範囲で優先順位を付してください。</div>				
活動主体の概要				
団体名(代表者名)	<div>以下、他薦の場合は、可能な限り推薦を受ける方(活動の主体者)をご記入ください。</div> <div>○活動主体が複数の場合は列記のうえ、代表となる団体・グループの冒頭に◎印をつけてください。</div>			
住所	〒			
TEL		FAX		
インターネット情報	<div>○ウェブサイトやSNSで活動等が紹介されているものがあれば、URLをご記入ください。</div>			
組織の事業又は活動概要	<div>○個人・団体の活動概要をご記入ください。 ○要点がわかりやすくなるよう、箇条書きにする等して具体的かつ簡潔に記載してください。 (より詳細な内容は参考資料を添付して補足してください。)</div>			
文字数目安: 500字程度				
記載内容に対する 問い合わせ先	所属: 氏名:	連絡先	TEL:	FAX:
		E-mail:		
表彰の対象となる 応募活動の これまでの受賞歴	<div>○表彰の対象となる応募活動に対して、現在までに表彰されたことがある場合は、表彰主体・内容・時期等をご記入ください。</div>			

申請書類の記入について

4. 様式2-2（自薦・他薦共通）

様式2-2

（整理番号：1-1 - ）

表彰の対象となる応募活動の概要

分野選択理由（応募活動と関連させて記載）（150字程度）

○応募活動に対して選択分野が適当であることが分かる一文や選択分野に対するアピールポイントをご記入ください。
例）～～による～～が緩和策となるため。～～で～～することでCO2排出量削減。
～～に対して～～することが適応策となるため。気候変動に適応する～～を開発。

文字数 0

表彰の対象となる応募活動の目的・ビジョン（文字数目安：500字程度）

○表彰の対象となる応募活動目的・ビジョンをご記入ください。
○要点がわかりやすくなるよう、箇条書きにする等して具体的かつ簡潔に記載してください。
（より詳細な内容は参考資料を添付して補足してください。）

<表彰の対象となる応募活動概要>

気候変動対策の観点から表彰の対象となる応募活動の特色をできるだけ明確にご記入ください。
（令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰実施要領「選考基準等」に記載している観点を参考に特色をご記入ください。）
特に、他同様の活動がある場合は相違点を明確してください。
③普及・促進部門（緩和分野、適応共通）に関しては、活動実績が概ね3年以上の継続性を有すること。

文字数 0

表彰の対象となる応募活動の内容・アプローチ（手法）（文字数目安：1,000字程度）

○表彰の対象となる応募活動内容等を具体的に記入してください。
○複数の活動主体による応募場合、それぞれが果たした役割について、活動の内容がわかるようにご記入ください。
○要点がわかりやすくなるよう、箇条書きにする等して具体的かつ簡潔に記載してください。
（より詳細な内容は参考資料を添付して補足してください。）

<団体等の活動うち、表彰対象となる応募内容をご記入ください>

開発・製品化部門	（緩和分野） 国内外の温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発により、その製品化を進めたことに関する功績を、客観的な視点でご記入ください。
	（適応分野） 気候変動の影響による国内外の被害を回避または低減する優れた技術の開発により、その製品化を進めたことに関する功績を、客観的な視点でご記入ください。
先進導入・積極実践部門	（緩和分野） 国内外の温室効果ガスの排出を低減する技術等の大規模導入・先進的導入および積極的な活用、地球温暖化防止に資するライフスタイル等の積極的な実践等に関する功績を、客観的な視点でご記入ください。
	（適応分野） 気候変動の影響による国内外の被害を回避または低減する優れた適応策の先進的導入及び積極的な実践、企業や地域等の気候変動への強靱性や持続可能性の向上を目的とした気候変動リスク分析及び適応策の導入における積極的かつ先進的な取組に関する功績を客観的な視点でご記入ください。
普及・促進部門	（緩和分野・適応分野共通） 普及・促進活動や、教育・普及・啓発・持続可能な未来に向けた価値観、行動、ライフスタイルの変容等継続的な取組に関する功績を客観的な視点でご記入ください。

応募活動に対する財政的支援等	助成団体の名称、補助金等の名称 ○応募活動の実施にあたり補助による財政的支援等を受け場合は、その当該助成団体及び助成額について下欄ご記入ください。	助成額等	自 至 総額	年～ 年	（助成等の概要（補助率等含む））
応募活動の実施期間	2010/4/1	～	継続中		通算期間：11年2ヶ月
団体/個人の活動期間	2010/4/1	～	継続中		通算期間：11年2ヶ月

○○○○（西暦）／○（月）の形で入力をお願いします。

申請書類の記入について

5. 様式2-3（自薦・他薦共通）

様式2-3

（整理番号：1-1- ）

表彰の対象となる応募活動の気候変動対策としての貢献度（文字数目安：500字程度）

- 応募活動が気候変動対策にどのように貢献するのかを具体的（数値を用いて）にご記入ください。
- 要点がわかりやすくなるよう、箇条書きにする等して具体的かつ簡潔に記載してください。（より詳細な内容は参考資料を添付して補足してください。）
- ※気候変動対策の取組が主体であることが分かるようにご記入ください。

文字数 0

表彰の対象となる応募活動により期待される波及効果（文字数目安：500字程度）

- 市場への展開やライフスタイルの変革やなど脱炭素社会実現に向けて地域や社会に対してどのような効果が期待でき、また、今後の展開で期待される効果等についてを具体的にご記入ください。
- 要点がわかりやすくなるよう、箇条書きにする等して具体的かつ簡潔に記載してください。（より詳細な内容は参考資料を添付して補足してください。）

文字数 0

表彰の対象となる応募活動における刷新的要素（文字数目安：500字程度）

- これまでにない新しい技術や取組、アプローチなど持続可能な未来に向けた刷新的要素がある場合はこちらに記載してください。
- 要点がわかりやすくなるよう、箇条書きにする等して具体的かつ簡潔に記載してください。（より詳細な内容は参考資料を添付して補足してください。）

文字数 0

表彰の対象となる応募活動の今後の計画、持続的な展開の展望（文字数目安：500字程度）

- これまでの活動内容を踏まえ、活動がいかに持続的に実施可能か、その計画について分かるように記載してください。
- 要点がわかりやすくなるよう、箇条書きにする等して具体的かつ簡潔に記載してください。（より詳細な内容は参考資料を添付して補足してください。）

文字数 0

〈参考〉部門別選考の観点

開発・製品化 部門	〔緩和分野〕	この技術の開発によって生み出された製品により、CO ₂ 等の温室効果ガスが従来の技術・製品に比してどれだけ削減されるか。 (例：従来機器比○%使用電力削減、CO ₂ を年間△t削減)
	〔適応分野〕	この技術の開発によって生み出された製品により、気候変動によるリスクが従来の技術・製品に比してどれだけ削減されるか。 (例：気候変動リスクの被害額○円低減、暑さ指数(WBGT)○℃低減)
先進導入・ 積極実践部門	〔緩和分野〕	対策技術の先進的な導入によって、導入から、いままでに温室効果ガスがどれだけ削減できたか。導入した技術・設備をどのように活用してきたか。 (例：CO ₂ 排出量○%削減、CO ₂ を年間△t削減)
	〔適応分野〕	適応技術や企業戦略の先進的な導入等によって、導入から、いままでに気候変動によるリスクがどれだけ削減できたか。導入した技術や企業戦略等をどのように活用実践してきたか。 (例：気候変動リスクの被害額○円低減) (例：気候変動を踏まえた安定的な原材料ルート○%確保)
普及・促進 部門	〔緩和分野〕	具体的にどのような人たちに何年間、どのような活動内容を行い、どのような効果があったか。今後どのように活動を展開する予定か。社会に対してどのような効果が期待でき、どのような方法で地域に貢献したか。また、その実績はどの程度か。 (例：△年にわたって、延べ○人が活動に参加し、△%の節電効果があり、×kgのCO ₂ 削減) (例：学校周辺地域の○○などの主体と連携し、△回の地域の指導者育成を行い、持続可能な仕組みをつくった。)
	〔適応分野〕	具体的にどのような人たちに何年間、どのような活動内容を行い、どのような効果があったか。今後どのように活動を展開する予定か。社会に対してどのような効果が期待でき、どのような方法で地域等に貢献したか。その実績はどの程度か。また、気候変動の影響をどのように把握し、活動に生かしているのか。 (例：学校周辺地域の○○などの主体と連携し、△回の地域の指導者育成を行い、持続可能な仕組みをつくった。)

☐ 案内を受け取る ☐ 案内を受け取らない

備考



☆令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰 応募部門／分野選択チャート～はじめに～

目的：気候変動の緩和及び気候変動への適応に関し顕著な功績のあった個人又は団体（自治体、企業、NPO/NGO、学校等。共同実施も含む。）に対し、その功績をたたえるため、表彰を行う。

緩和とは・・・温室効果ガスの排出削減と吸収の対策を行うこと。

取り組み例：

省エネの取組、再生可能エネルギーなどの低炭素エネルギー、
CCS（排出された二酸化炭素（CO₂）を回収して地中に封じ込め（貯留）る技術）の普及、
植物によるCO₂の吸収源対策、CO₂排出削減に寄与する投資や経営などの取組など

適応とは・・・気候変動影響による被害への回避・軽減のための備えと、
新しい気候条件の利用を行うこと。

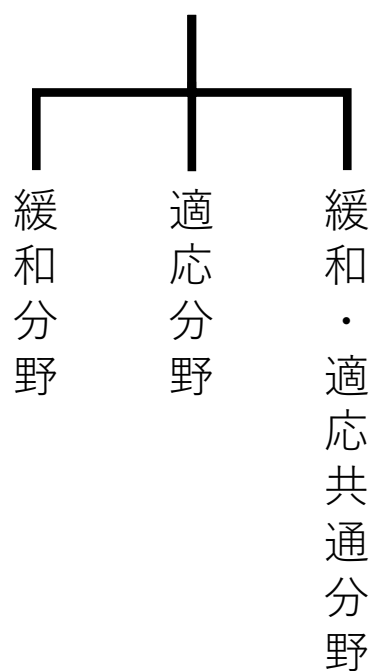
取り組み例：

豪雨、少雨や熱波などの異常気象への対策
サプライチェーン（原料～製品が消費者の手元に届くまでの繋がり）も含めた気候変動リスク管理など

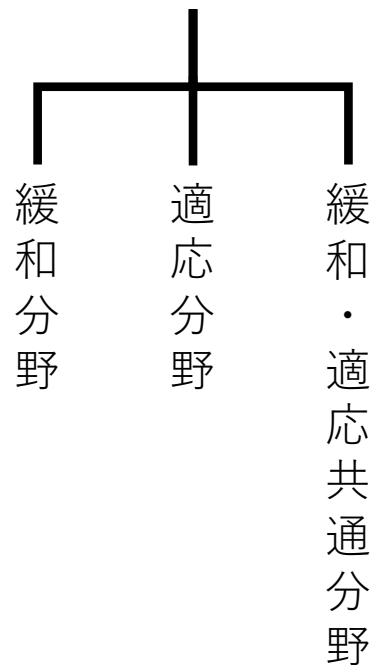


☆令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰 応募部門／分野選択チャート
～部門と分野～

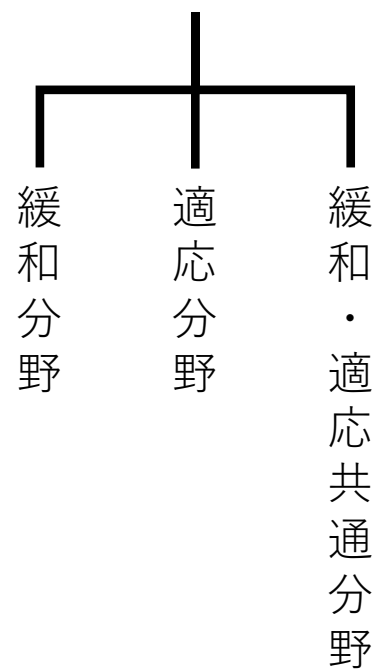
A 開発・製品化部門



B 先進導入・積極実践部門



C 普及促進部門



D イノベーション発掘・社会実装加速化枠

気候変動アクション環境大臣表彰選考委員会による審査

気候変動アクション環境大臣表彰選考委員会分科会を設置して総合的に審査し、同選考委員会にて審議

☆令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰 応募部門／分野選択チャート①

このチャートは応募部門選択の際の参考です。必ずしもこの結果通りに応募しなければならないというものではありません。

- A. 今までにない技術の開発に取り組んでおり、一定の効果が期待できることが分かった
(既に製品化を進めている)
B. 先進的技術(仕組み)を取り入れ実績を積んで効果を出している。
既存の技術(仕組み)を応用/改善して、効果を得られる新たな手法や取り組みを積極的に行っている。
C. 様々な主体を巻き込み未来に向けた価値観、行動、ライフスタイルの変容に寄与する情報収集、発信を継続的に実施している
D. イノベーションの開発・実証と実用化率向上に向けた卓越したアイデアを持ち社会実装実現に向けて取り組んでいる

D
イノベーション発掘・
社会実装加速化枠

→次ページへ

A
開発・製品化部門

B
先進導入・積極実践部門

C
普及促進部門

→次ページへ

- I. 開発した技術は温室効果ガス排出低減に直結する
II. 気候変動による影響を回避、低減させる技術/製品、仕組みの開発している
III. 温室効果額ガス削減に寄与する技術を開発し、
気候変動の影響の回避、低減にも応用、転換可能だということが分かった

- I. 技術や仕組みの先進導入の結果、温室効果ガスを排出低減させる
ことができた。
II. 気候変動による影響を回避、低減させる影響を回避、
低減させる技術や手法、仕組みを導入して事業や活動を行っている。
III. 温室効果額ガス削減に寄与する技術や仕組みを形にし、
気候変動の影響の回避、低減の実績がある

I. 緩和分野

II. 適応分野

III. 緩和・適応分野

A- I (例) : [winners_r02_01.pdf \(env.go.jp\)](#)

A- II (例) : [winners_r02_07.pdf \(env.go.jp\)](#)

A- III (例) : [winners_r02_11.pdf \(env.go.jp\)](#)

B- I (例) : [winners_r02_12.pdf \(env.go.jp\)](#)

B- II (例) : R2受賞対象なし

B- III (例) : R2受賞対象なし

☆令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰 応募部門／分野選択チャート②

C 普及促進部門

- I. 地球温暖化防止や節電に関する普及・促進活動、植林活動など
気候変動防止する活動を継続的に実施している。
- II. 気候変動による影響等の情報を収集・発信し、各分野での気候変動に適応するための教育・啓発・行動変容を促す取り組みを継続して行っている。
- III. 地球温暖化防止に資する具体的な普及促進活動の実施且つ、気候変動への適応に関する情報発信、普及啓発により持続可能な未来に向けた価値観、行動変容を促す活動を継続して実施している。

I. 緩和分野

C-I (例) : [winners_r02_15.pdf \(env.go.jp\)](#)

II. 適応分野

C-II (例) : [winners_r02_29.pdf \(env.go.jp\)](#)

III. 緩和・適応分野

C-III (例) : [winners_r02_32.pdf \(env.go.jp\)](#)

D

イノベーション発掘・ 社会実装加速化枠

脱炭素社会構築に貢献するイノベーションの開発・実証と実用化率向上に向けた卓越したアイデア、その迅速かつ着実な社会実装が期待できる確かな実現力を有する者。

※専用申請様式あり

イノベーション発掘・社会実装加速化枠 (例) :
[CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業 | 環境省 \(env.go.jp\)](#)